

5月27日：連騰後の利益確定売りを受け、VN指数は反落

ベトナム市場では連騰後の投資家による利益確定売りを受け、VN指数は7営業日ぶりに反落した。

ホーチミン市場では、VN指数は1%（13ポイント）安の1303.57ポイントで取引を終えた。

VN指数は前日までの7営業日で5%を超える上昇となり、多くの投資家はキャッシュポジションを取り始めた。

ホーチミン市場では売買高が急増したため、午後の取引で45分間のシステム遅延が発生した。

システム遅延は今に始まったものではなく、最近の取引でも起きた。vietstock.vnに寄せられたアナリストのコメントによると、ホーチミン市場の注文処理能力を1取引当たり110万件に強化しても、投資家の需要に対して能力はまだ十分でないという。

「注文をゆっくり出す投資家は、特に今日のような午後の取引で遅延リスクをはらんでいる」とアナリストはさらに付け加えた。

同市場の売買高は前営業日と比べ30%増の約7億3,300万株、売買代金は11%増の24兆1,000億ドン（10億4,000万米ドル）となった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄の3倍となった。VN30指数では、組入銘柄のうち22銘柄が下落、6銘柄のみ上昇した。

セクター別では銀行株が最も値下がりし、ベトナム投資開発銀行（BID）、ヴィエティンバンク（CTG）、HDバンク（HDB）、軍隊商業銀行（MBB）、テクコムバンク（TCB）、TPバンク（TPB）などはそれぞれ2%を超える値下がりとなった。

その一方で不動産関連株は上昇。DIC不動産（DIG）、ダットサイングループ（DXG）、技術インフラ開発（IJC）、カンディエン不動産（KDH）、ファットダット不動産開発（PDR）といった多くの中堅不動産の銘柄は終日上昇を続けた。

ハノイ市場では、HNX 指数が 0.13% 安の 304.45 ポイントで取引を終えた。

同指数は直近 4 営業日で 3.3% 上昇していた。

売買高は約 1 億 5,400 万株、売買代金は 3 兆 5,000 億ドンだった。

国内投資家とは対照的に、外国人投資家は引き続き買い入れた。両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で買い越し、買い越し金額は計 2,670 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。